

AGCディスプレイグラス米沢の健康経営への取り組み

AGCディスプレイグラス米沢で働く全ての人が、
健康で明るく元気に働けるよう、健康経営に注力しています。
健康経営は私たちの企業理念の一つである「躍動」を実現するための
非常に重要な取り組みです。

活気のある会社にするためには、会社で働く全ての人が、
若々しく、元気で、心身ともに健康である事が必要だからです。

AGCディスプレイグラス米沢株式会社
代表取締役社長 松下 健一



健康経営で目指す姿

当社は「人財育成と会社生活の充実」の実現に向け、「従業員がやりがいを持ち、明るく元気に働ける職場づくり」を推進しています。健康経営を重要な経営課題と位置付け、従業員の健康保持・増進を通じて仕事のパフォーマンス向上と組織活性化を図り、企業価値向上につなげています。



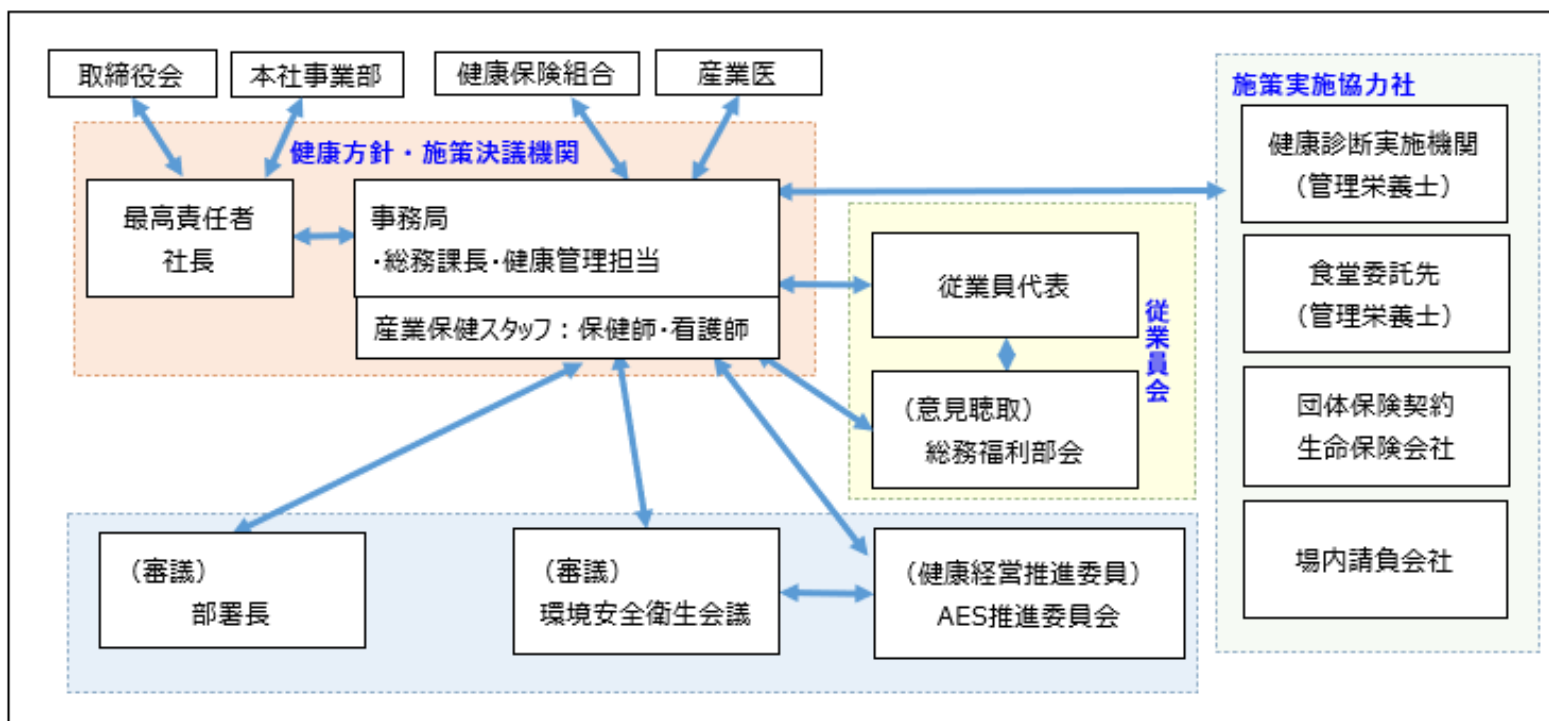
健康経営推進体制

代表取締役社長を最高責任者、総務課長を推進事務局長とした体制のもと、総務課、産業保健スタッフ、産業医と社内の各部署組織および従業員組織が連携しながら健康経営を推進しています。

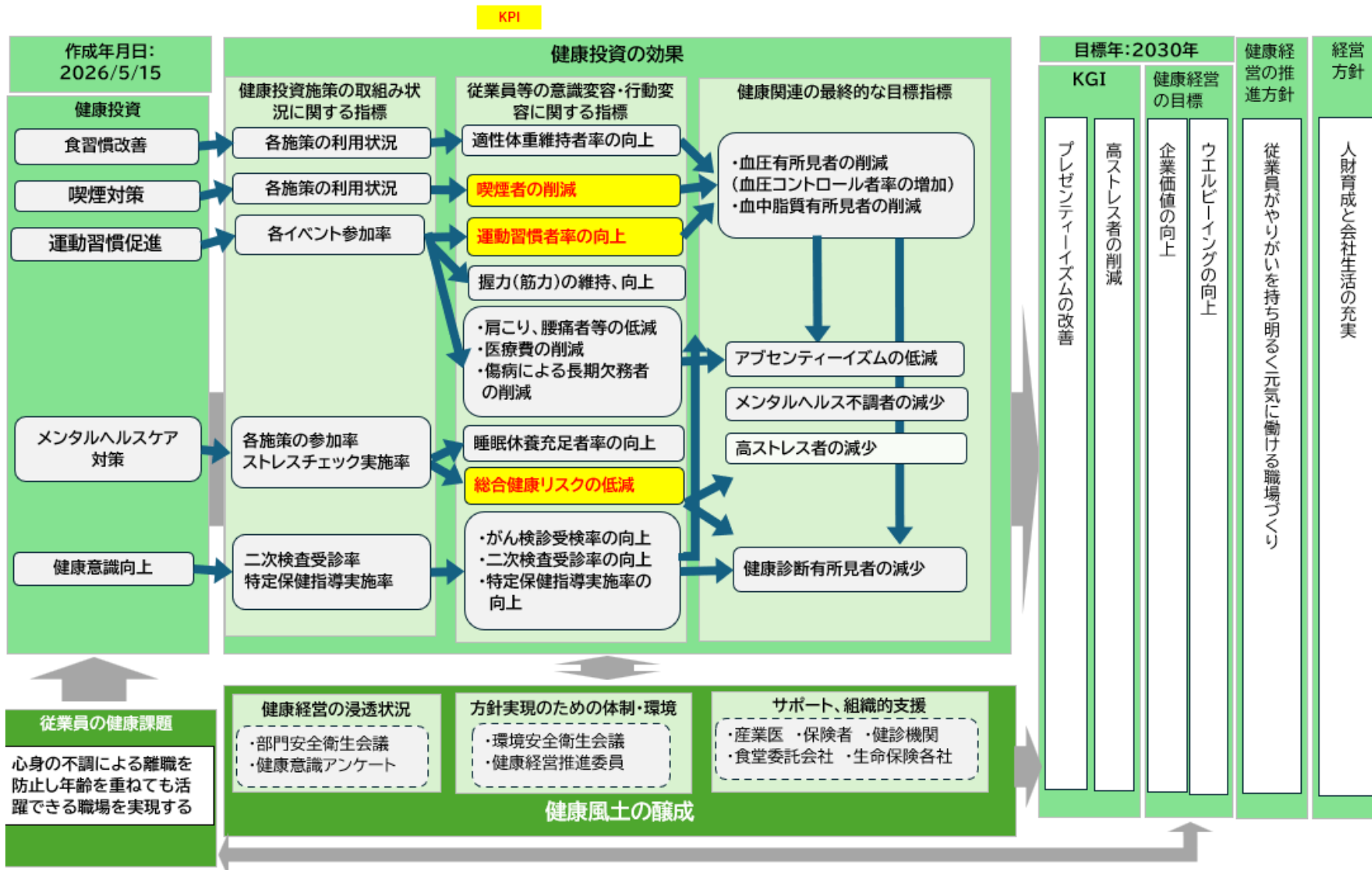
また各部署の管理職（部署長）を重要な推進主体と位置付け、職場改善やメンタルヘルス対策に取り組んでいます。

さらに健康保険組合（保険者）や食堂委託先・管理栄養士および取引先のご支援を受けながら、さらなる健康増進を目指しています。

健康経営推進体制



当社では、高ストレス者率の低減(10%以下)、プレゼンティーズム改善（損失率20%以下の従業員割合80%以上）を健康経営の最終成果指標（KGI）として設定しています。



当社では、健康経営の取り組みを継続し、運動習慣や喫煙率などの健康習慣・行動に関する指標は改善しています。

一方で、高ストレス者率やプレゼンティーイズムについては改善が十分ではなく、健康習慣の改善が最終的な成果指標の改善に十分結びついていないことが課題となっています。

そのため当社では、高ストレス者率の低減とプレゼンティーイズム改善を最終成果指標（KGI）として取り組んでいます。

ADYが重点的に取り組む健康課題

メンタルヘルス

ストレスチェック結果から、高ストレス者率の低減を重要課題として位置付けています。従業員が安心して働き続けられる職場づくりを目指し、早期発見・早期対応と職場環境改善に取り組んでいます。

プレゼンティーイズム

活力調査では、健康問題による生産性低下が確認されています。従業員一人ひとりが能力を十分に発揮できる状態を目指し、健康増進と働きやすい職場環境づくりを推進しています。

生活習慣改善

健康診断結果から、生活習慣病リスクの低減と健康習慣・行動の定着が課題となっています。運動習慣の定着や禁煙支援を通じて、健康で長く活躍できる職場づくりを目指していきます。



健康経営の最終目標（KGI） 2030年目標

・高ストレス者率10%以下

・プレゼンティーイズム損失率20%以下の従業員割合80%以上

健康課題改善に向けた取り組み

- 1) メンタルヘルス
- 2) プレゼンティーズム
- 3) 生活習慣改善
 - ・運動
 - ・食事
 - ・喫煙

1) メンタルヘルス

高いストレスレベルは、心身にさまざまな悪影響を及ぼす可能性があり、プレゼンティーズムに大きな影響を与えていることが調査結果からみえてきた為、2023年より高ストレス者の削減を重点指標の1つとして取り組んでおり、2025年より健康経営のKGIとしました。

メンタルヘルス対策の第一歩となる、従業員本人がストレスに気づき、対処する「セルフケア」、管理者が部下に対して行う「ラインケア」について、定期的に研修を開催しています。2024年ストレスチェック結果から、ストレスの傾向が年代別に異なることがみえてきた為、2025年以降は「セルフケア」研修を年代別に開催しています。

メンタル不調者の早期発見と重症化予防を目的として入社時、3ヶ月および1年後に看護師・保健師面談を実施しています。

また2026年は保健師による組織支援を強化し、職場パトロール、部署長との連携、ストレスチェック集団分析結果を活用した職場改善活動を推進することで、個人と組織の両面からメンタルヘルス対策を推進しています。

■セルフケアの取り組み

- ・ストレスチェック受検率の向上
- ・セルフ（疲労度）チェックリスト、外部相談窓口のメルマガ配信
- ・セミナー開催（2021年：理解度9割、2023年：マインドフルネス、2024年：レジリエンス研修・受講率91%、理解度89%、2025年：年代別研修）

■ラインケアの取り組み

- ・セミナー開催（2021年実開催、2022年以降、eラーニング）
- ・ストレスチェック80項目へ変更（2023年より）
- ・保健師と部署長の個別コミュニケーション、セミナー開催（2026年）

■ストレスチェック結果推移

*ストレスチェック委託会社の製造業の結果（17.8%）に比べ良好な状態ですが、当社としては10%以内を目標に取り組み続けます。

	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
ストレスチェック受検率	84.4%	84.3%	95.0%	98.8%	97.6%
高ストレス者率	11.9%	13.4%	12.9%	13.1%	15.1%
総合健康リスク	106	99	96	93	99

2) プレゼンティーイズム

2022年より東大1項目によるプレゼンティーイズム調査を開始しました。その結果、ストレスや肩こり・腰痛等の症状とプレゼンティーイズム損失率の関係が見えてきた為、2024年以降、メンタルヘルスケア研修を定期的で開催しています。内容としては、「レジリエンス研修」や「年代別セルフケア」等、毎年変化させています。

また、肩こり・腰痛等の改善として、自分で血行を促す為の「ウェーピング・ストレッチポール」の使い方セミナーを開催すると共に、社内にメンテナンスルームを設置、従業員がいつでも自分で体のメンテナンスができる環境を整えました。さらに希望者へ社内で整体師による施術を実施しました。参加者の施術評価は、5点満点中4.76点と高評価でした。

2026年には、保健師による「肩こり・頭痛・睡眠改善セミナー」を開催。肩こりチェックでは参加者が真剣にセルフチェックを行う様子も見られました。

社内のメンテナンスルーム
ストレッチポールやウェーピングを常設



整体師によるマッサージ



保健師セミナー（肩こり・頭痛・睡眠改善）



	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年
プレゼンティーイズム	85.3%	77.0%	82.7%	82.50%	調査中
回答率	45.5%	92.9%	95.4%	97.90%	調査中
回答者数	291人	542人	586人	651人	調査中
80%以上者の割合	77.0%	59.6%	75.1%	73.10%	調査中

東大1項目版設問：病気やけががない時に発揮できる仕事の出来を100%として過去4週間の自身の仕事を評価してください（%）

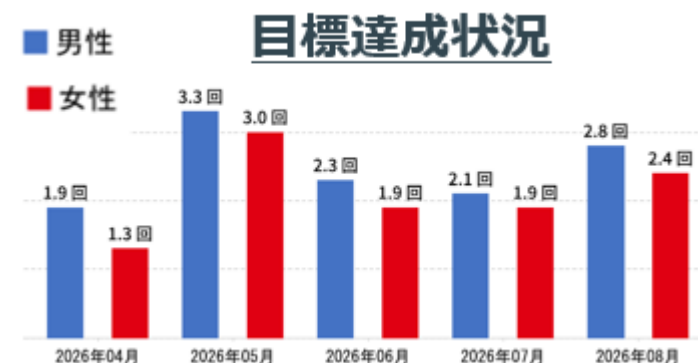
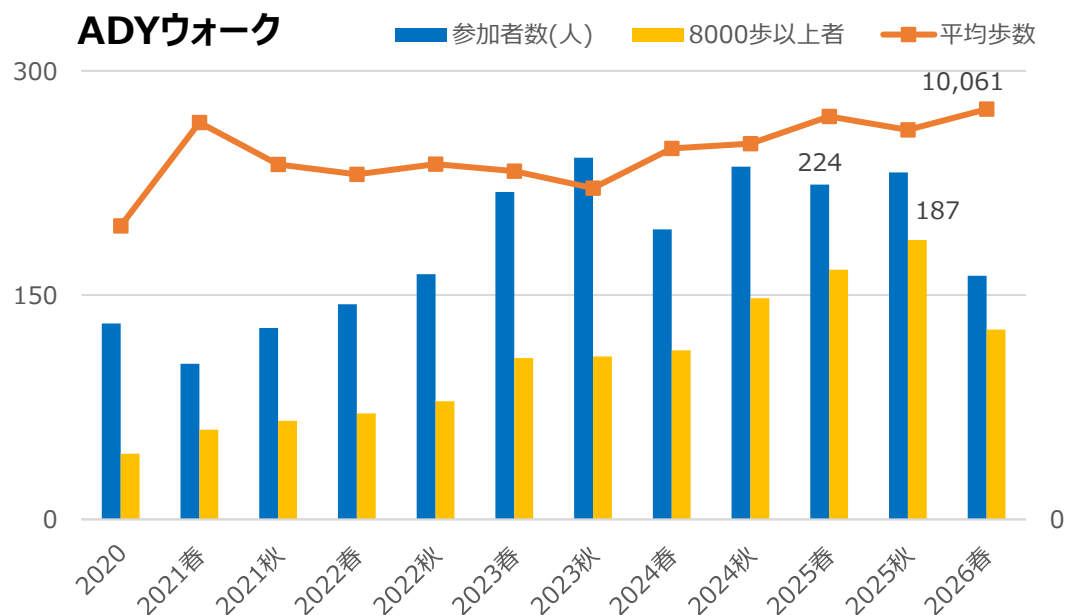
3) 生活習慣改善 運動

(投資累計額：～2025年 276万円)

健康経営開始当初より[健康診断の有所見者削減]を目指し、食事と運動の支援に取り組んでいましたが、2024年から重点指標を意識・行動変容の度合いを示す、[運動習慣者率の向上]に変更しました。

自社のウォーキングイベント「ADYウォーク」は2020年以降継続開催しており、活動量を意識し「1日8000歩」を推奨した結果、2025年に1日8000歩達成者率は74.6%と過去最高となりました。一方で「ADYウォーク」期間終了後は、活動量が減ってしまう従業員が多く、従業員から開催頻度見直し要望が寄せられ、2026年に毎週目標にチャレンジできる住友生命の「Vitality」を導入しました。運動習慣者率は、活動当初の24.9%から、2026年27.1%まで向上しました。

また、2023年以降、連続してスポーツ庁より「スポーツエールカンパニー」に認定されており、2025年以降は従業員の週1回以上のスポーツ実施率が70%以上の企業として「+」認定となっています。



3) 生活習慣改善 食事

(投資累計額：～2025年 15,069万円)

2020年から継続的に社内の食堂委託先と連携し、食習慣改善の支援に取り組んでいます。

1食で野菜140g以上となるウェルネスランチ、減塩メニュー、無料温野菜小鉢（**ベジモ**：ベジタブルをもっと）の提供をしています。

ベジモの喫食率は80%を超えており、従業員以外の外部来場者の方からも好評です。

2024年から[鉄分・カルシウム・食物繊維]が基準以上の小鉢にそれぞれの表示をつけ、社員の食育の場としての役割も追加しています。

また地元栄養大学の教授や栄養士会、市役所と連携し、食事と健康に関するセミナーや保健指導を開催をしています。

社内の売店では、特保飲料・機能性飲料や、低GI食品、栄養補助スナック等を取り揃えており、従業員が良い食習慣への行動変容がしやすい環境を整えています。

■その他の取り組み

- ・831野菜の日（日本人の野菜摂取目標に対する不足量70gのサラダ無料提供）
- ・減塩キャンペーン（1ヶ月間、漬物を酢漬けに変更・ラーメンスープ残し推奨。常時、減塩調味料の設置）
- ・健康レシピの配信（旬の食材を使った野菜中心のレシピ）



3) 生活習慣改善 喫煙

当社では、健康経営開始当初より喫煙者率が36.4%と他社に比べとても高く、2026年喫煙者率32.6%を目標に取り組み続けております。

当初、6カ所あった喫煙所を3カ所に集約し、タバコの害のポスターや従業員の禁煙成功談のグラレコ等を掲示し禁煙への啓発活動を継続して行っています。

2026年の喫煙率は33.7%となり、少しずつ削減できています。当社が加入している健康保険組合の2024年版「健康スコアリングレポート」の他社比較でみると喫煙者が多い状態で、まだまだ取り組みが必要です。

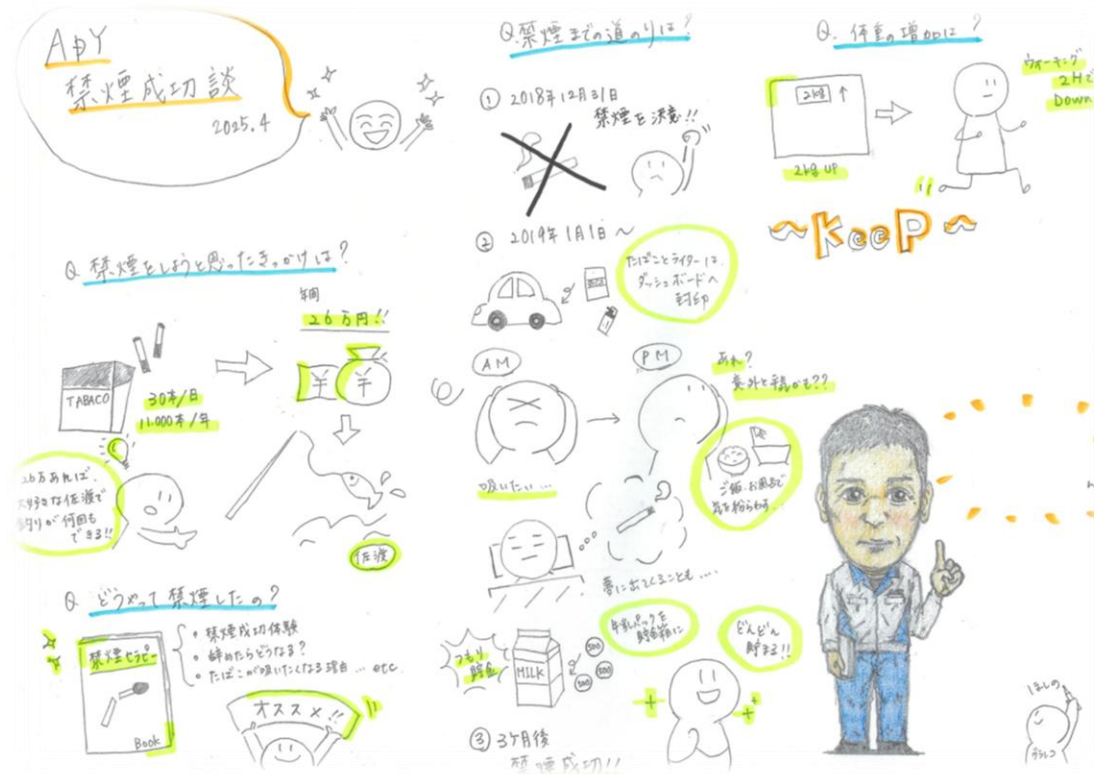
、2024年より禁煙治療費の補助を、2025年より心理的依存への支援ができる卒煙アプリの導入、さらに2025年6月より所定時間内の禁煙を開始しました。

■その他の取り組み

- ・スワンデー（毎月22日）啓蒙メール
- ・世界禁煙デー（5/31）喫煙所前の立哨とタブレット菓子の配布
- ・依存症セミナー（タバコとアルコールについて実施）
- ・心身依存への対応アプリの導入
- ・禁煙の予習ができる「本」の貸し出し



世界禁煙デー 喫煙所前の立哨とタブレット菓子配布



従業員の禁煙成功談をグラレコしたポスター：喫煙所に掲示

ウェルビーイング向上への取り組み

- 1) ワークエンゲージメント向上への取り組み
- 2) 組織活性化への取り組み

1) ワークエンゲージメント向上への取り組み

弊社では、エンゲージメントは「社員の取り組み意欲」と「従業員の活かす環境」と捉え、定期的にその状態を把握し、エンゲージメント向上に向けた取り組みを継続して行っています。職場改善では、各職場の状況に合わせて柔軟に実施するスモールミーティングで、職場の「強み」・「改善課題」を特定し、アクションプラン（目標イメージ）を策定しています。また、安心できる・お互いを尊重し信頼し合える職場づくりのため、上長向けL.E.T.研修（コミュニケーション能力向上研修）を段階的に開催しており、管理職層の受講完了率は100%です。

◆ワークエンゲージメント調査結果

回答対象者	質問項目	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
総合職以上	1) 仕事のやりがい	-	90%	92%	85%	87%	73%	74%
	2) 働きやすさ	-	-	51%	48%	52%	66%	57%
	回答者数	-	92	89	103	93	107	107
	回答率	-	100%	100%	100%	100%	100%	100%
全社員	3) 取り組み意欲	53%	-	-	49%	57%	63%	62%
	4) 社員を活かす環境	52%	-	-	52%	62%	61%	66%
	回答者数		-	-	404	213	192	276

(測定方法)

- 1) 2) 自社独自のヒアリングシート
- 3) 4) 2019年、2022年 コーン・フェリー社 エンゲージメント調査
2023年 クアルトリクス社 パルスサーベイ
2024年、2025年 コーン・フェリー社とクアルトリクス社

(算出方法)

- 1) の2023年まで：4段階の選択肢での肯定的(とてもある、ある)回答の割合
- 1) の2024年：5段階の選択肢での肯定的(とてもある、ある)回答の割合
- 2) 3) 4) ：5段階の選択肢での肯定的(とてもある、ある)回答の割合

2) 組織活性化の取り組み

操業以来、職場または全社での懇親行事を従業員会と会社の相互企画・運営で開催してきました。

新型コロナウイルス感染拡大により2020年以降は開催を中止していましたが、2023年5月に第5類への引き下げにより、約3年ぶりに懇親行事としてビアガーデンを無料開催し、部署をまたいだコミュニケーションの場となりました。以降、毎年ビアパーティーなどを開催しています。例年、参加率は50%後半で社員から好評です。

IE手法を取り入れながら楽しくモノづくりを実践し、コミュニケーション向上と発想の幅を広げ、今後の改善活動へ活かすことを目的に2017年より「なせばコンテスト」を開催しています。少人数でチームを組み、業務とは異なる共通課題をクリアし順位を競うコンテストで、コロナ禍は3密を避け継続しました。10回記念大会となった2025年の参加は、67チーム274名と大盛況でした。予選を勝ち抜いた8チームでの決勝戦は、Teams配信を行い従業員間のコミュニケーション良化のきっかけとなっています。

【なせばコンテスト】 2026年決勝戦：参加チームメンバー



ビアパーティー



ヘルスリテラシー向上への取り組み

- 1) 7つの健康アクション
- 2) その他の取り組み

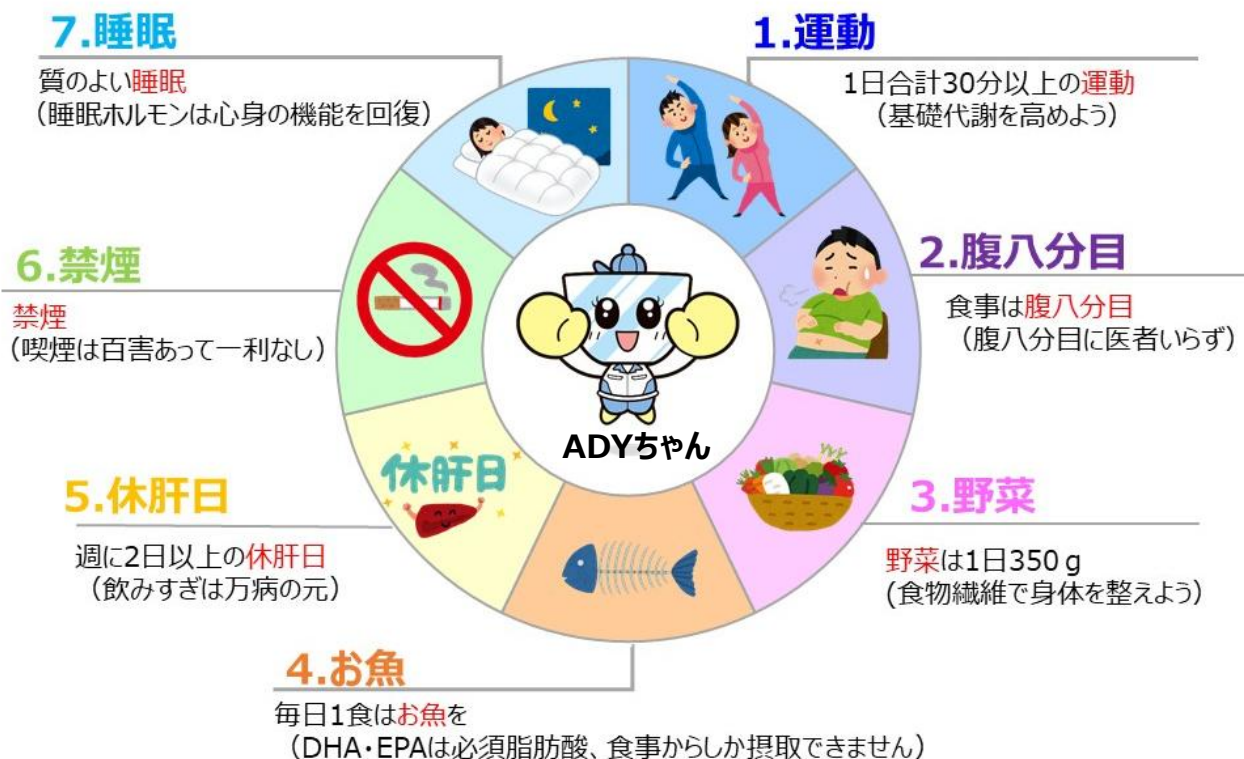
1) 7つの健康アクション

2021年に（健康意識）動機付け研修を全従業員に実施し、弊社の生活習慣改善に向けた『7つの健康アクション』の周知を行うとともに、各人が取り組めるアクションを選択し、一人一人が生活習慣改善に目を向け、行動する宣言を行いました。

『7つの健康アクション』は、入社教育や健康診断受診票の封筒に印刷するなど、継続して幅広く周知を行っています。

当社では、毎年年初に「安全・品質の誓い」としてそれぞれに関連する行動を記載し、各自のロッカーへの掲示を行っていますが、2025年より「健康の誓い」を加え、健康へ向けた行動宣言による健康行動の習慣化を目指しています。

7つの健康アクション



2) その他の取り組み

従業員が自分のカラダの状態を知り、良い習慣を身につける事を目指し、様々な取り組みをしています。

■ 保健指導

2022年より、全従業員を対象に健康診断時に管理栄養士・保健師によるワンポイント保健指導を継続しています。

前年の健康診断結果と食習慣の振り返りや生活習慣改善のアドバイスを通じ健康意識向上を目指しています。また2024年より健康診断結果の内生活習慣病に影響がある6項目について、A判定だった方と前年より改善された方に社内食堂の食事券を副賞として表彰する活動を開始。2026年は全従業員の98.4%が表彰を受けており、健康診断結果改善意欲の高まりが見えてきました。

■ カラダ測定会

2020年より生命保険会社様のご支援により継続実施しているカラダ測定会は、血管年齢やベジチェック（野菜摂取量）、AGE（糖化度）、InBody（体組成）、骨ウェーブ（骨の健康度）等を年に数回開催しています。全従業員が利用する食堂協で行っており、場内請負会社員を含めた多くの方にご参加いただいています。また結果をその場でご自身がグラフ上にマークすることで、社員同士の組織を超えたコミュニケーションのきっかけにもなっています。

■ 女性の健康問題

- ・女性社員向け：毎年健康問題セミナー（2025年参加率:94.7%）

2021年は保健師との対話会（参加率：92%）

- ・管理職向け：セミナー（2025年参加率：97%）

カラダ測定会



- 
- 1) 健康診断・指導状況**
 - 2) 高リスク者管理項目**
 - 3) ヘルスリテラシー状況**

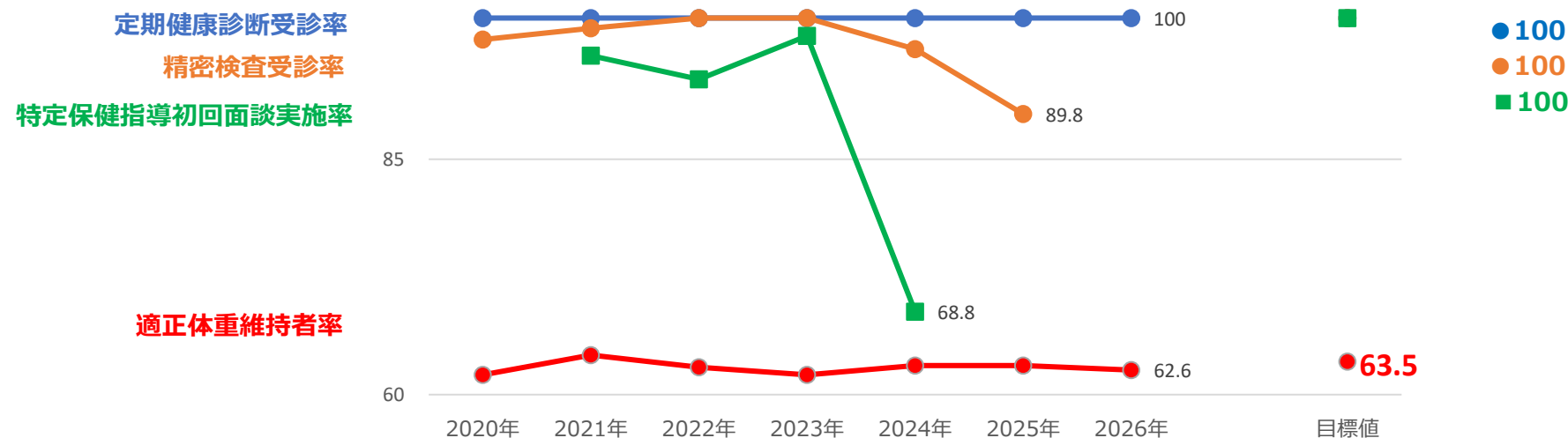
1) 健康診断・指導状況

健康診断は毎年100%の受診率及び精密検査受診率100%を目標に実施しています。

生活習慣病はいずれも体重管理が最大のポイントあることから、適正体重の維持率を注視しており、特定保健指導で生活習慣改善の働きかけを行っていますが、2024年に特定保健指導の実施率が大幅に低下した為、2025年は健康保険組合と協議・連携し実施会社の変更、および自社の産業保健スタッフがフォローをする体制に変更しました。

精密検査受診率は高い水準を維持できており、近隣他社に、このノウハウと社員に配布する精密検査受診案内文書を提供し、地域の健康経営支援へも貢献しています。

◆社員の健康づくり推進状況



2) 高リスク者管理項目

高リスク者への支援として、血糖値判定「要医療」者以上への産業医面談を実施しています。

(実施率：2021年66.7%、2022年83.3%、2023年100%、2024年100%、2025年 100%)

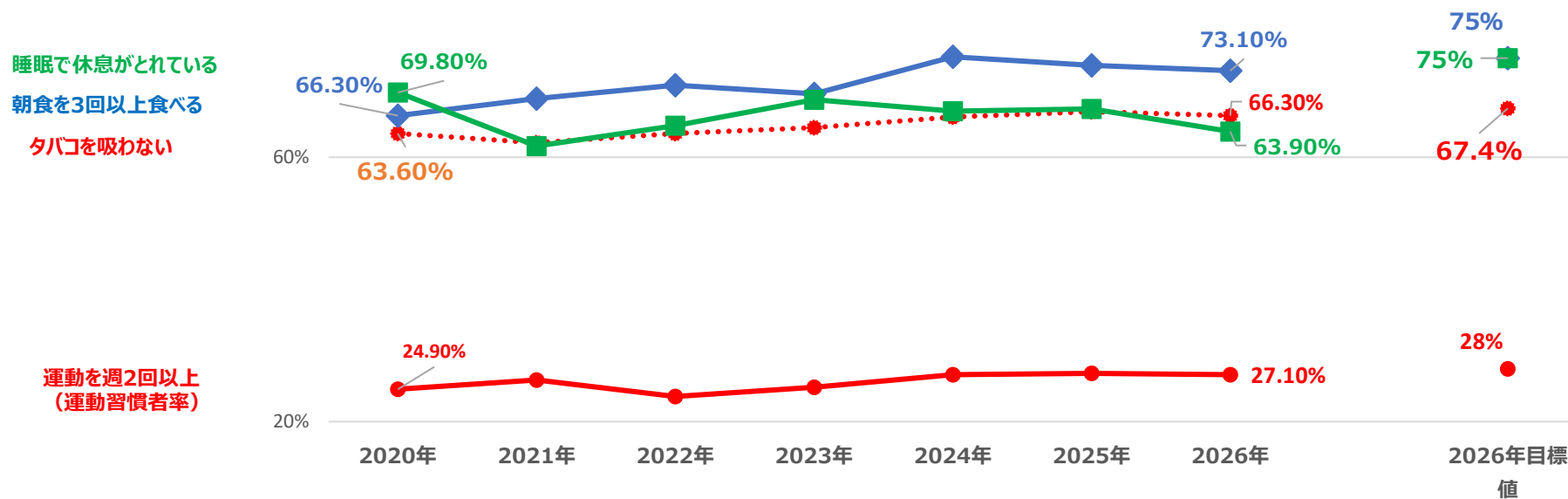
また、特定の検査値が全て異常値の方には、『労災二次健康診断の給付制度』を案内することで、早めの受診につなげています。

◆高リスク者管理状況

高リスク者管理状況	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年
高血圧率	18.3%	18.8%	18.9%	20.2%	20.7%	20.5%	22.5%
高血圧者のうちコントロール率	56.2%	45.3%	40.7%	38.4%	46.2%	84.6%	63.7%
血圧未治療比率	6.8%	12.0%	9.9%	10.5%	15.4%	5.5%	9.8%
血糖リスク率	0.5%	0.3%	1.2%	0.5%	0.7%	0.5%	0.4%

AGC AGCディスプレイグラス米沢株式会社
Your Dreams, Our Challenge

◆社員の良い生活習慣の状況



効果検証と今後の課題

効果検証と今後の課題

健康経営への参加率や健康意識は向上し、運動習慣や喫煙率などの健康行動には改善が見られています。

一方で、高ストレス者率やプレゼンティーズムについては改善が限定的であり、参加率向上と成果には乖離が見られます。

今後は個人支援に加え、職場改善支援や管理職支援を強化し、従業員が無理なく健康習慣・行動を継続できる環境づくりを進めていきます。

外部評価・認定状況

